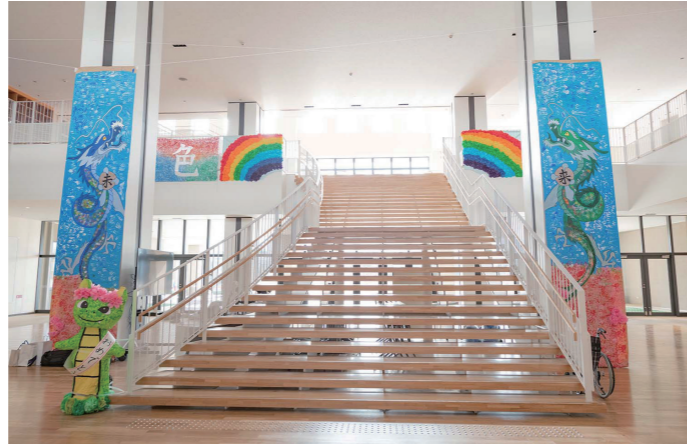


豊中市立庄内さくら学園・豊中市庄内コラボセンター「ショコラ」



外観

大阪府豊中市初の施設一体型小中一貫の義務教育学校であり3つの小学校と2つの中学校を統合した「庄内さくら学園」。公共施設が再編された「庄内コラボセンター」が併設され、市南部地域の核となる施設となっている。



豊中市立庄内さくら学園  
交流スペース

「庄内さくら学園」エントランスにある交流スペースは、木のぬくもりを感じさせる床と大きなメイン階段が印象的な広々とした空間。展示されている創作物は、9年生の卒業を送るために各学年で制作したものである。



豊中市立庄内さくら学園  
トイレサイン

3・4年生のトイレサインは、「育む」をキーワードに茂みと太陽をイメージした緑と黄色、8・9年生のトイレサインは、「探索」をキーワードに専門性とやる気をイメージした青と赤をアクセントカラーとして使用している。



豊中市立庄内さくら学園  
南校舎1F  
1・2年生トイレ入口

おしゃべりしながら使えるアイランド型の洗面コーナーや柔らかな曲線形状で楽しく行きたくなる空間を創出。1・2年生のトイレサインは、「芽生え」をキーワードに日差しと新緑をイメージした黄色と黄緑を採用している。



豊中市立庄内さくら学園  
南校舎1F  
1・2年生女子トイレ  
大便器コーナー

小柄な体格の児童に配慮した1・2年生のトイレには、通常形より約74mm低く設定している低リップ大便器を採用している。



豊中市立庄内さくら学園  
南校舎1F  
1・2年生男子トイレ  
小便器コーナー

小便器は、床の清掃性と節水機能に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置。円形のスペースに配置された小便器は、隣の視線に配慮するとともに、ワクワク感を取り入れた空間デザインとなっている。



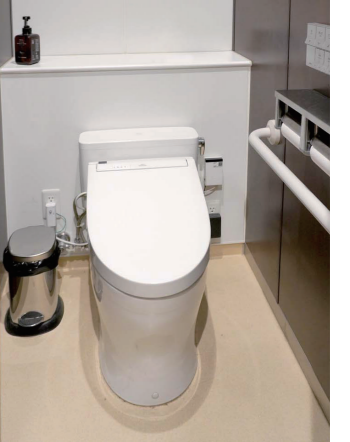
豊中市立庄内さくら学園  
南校舎1F  
職員用トイレ

スッキリとした清潔感を感じさせる職員トイレ。カウンター式の洗面コーナーには、衛生性に配慮して非接触で手洗いができる、自動水栓を採用している。



豊中市立庄内さくら学園  
南校舎1F  
職員トイレ

ブース内の内装はダーク系の木目をアクセントに使用した、落ち着いた空間。大便器はパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用し、ウォッシュレットPSも完備している。



豊中市立庄内さくら学園  
廊下

北校舎と南校舎の間はシャッターで閉じることができ、学校施設が災害時に避難所として利用される際にも、学校と避難所の機能が分けられるようになっている。



豊中市立庄内さくら学園  
北校舎1F  
男女共用トイレ



北校舎には、発達に課題を持つ児童をサポートする通級指導教室や適応指導教室などがあり、その近くには、性別に関わらず利用できる個室の男女共用トイレを設けている。



豊中市立庄内さくら学園  
北校舎1F  
バリアフリートイレ

災害時や学校行事で来校される保護者、地域の方など、さまざまな利用者を想定し、北校舎の各階にはオストメイトに配慮した器具を備えた、バリアフリートイレを設置している。



豊中市立庄内さくら学園  
北校舎1F  
配膳室

1F配膳室の入口には、衛生性に配慮し、ラクな姿勢で手首までしっかりと手洗いできる、スタッフ用手洗器を設置している。

豊中市立庄内さくら学園・豊中市庄内コラボセンター「ショコラ」



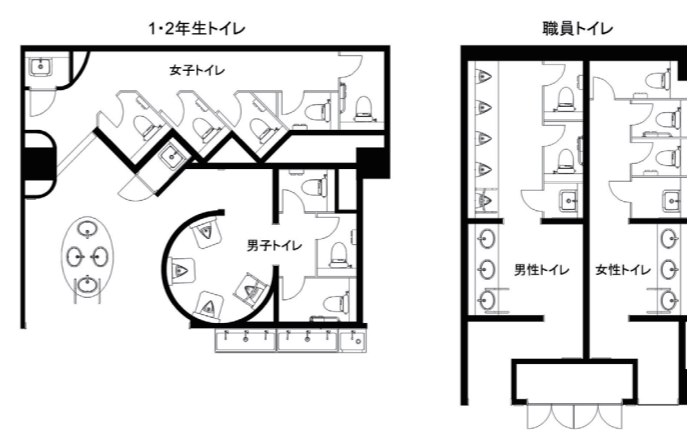
庄内コラボセンター「ショコラ」あいさつロード

学校とコラボセンターを挟んで、地域の生活動線となる「あいさつロード」を設置。真ん中で両建物のエントランスを対面させることで、地域の方々と児童たちが日常的に交流できる機会を創出するようになっている。



庄内コラボセンター「ショコラ」内観

さまざまな公共施設が再編され、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用する、庄内コラボセンター「ショコラ」には、図書コーナーや子育て支援センターなど9つの施設を備えている。



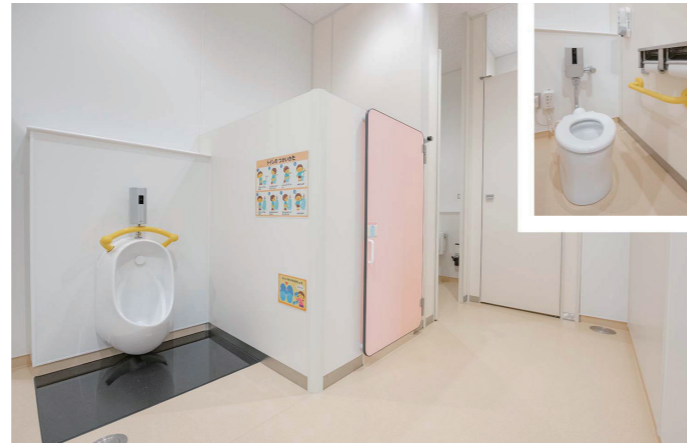
豊中市立庄内さくら学園南校舎1Fトイレ図面

おしゃべりしながら楽しく手洗いができるアイランド型の洗面コーナーは、やわらかな曲線が特長の空間。職員トイレは、衛生性・プライバシーに配慮し、ドアレスでも廊下からの視線が入らないように工夫されている。



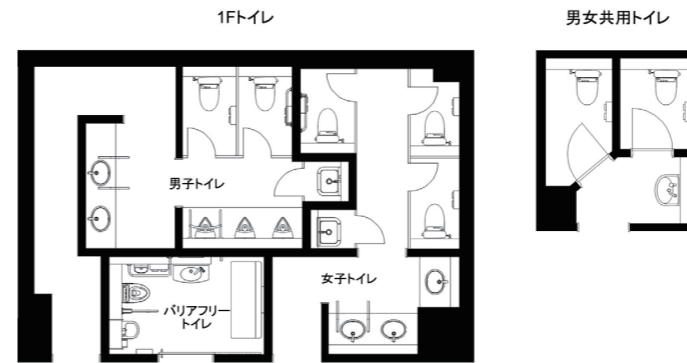
庄内コラボセンター「ショコラ」女性トイレ

トイレの内装は落ちついた木目調とし、洗面コーナーの鏡は隣人の視線が気にならないように個別鏡を設置。大便器は、スッキリとしたデザインで、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。



庄内コラボセンター「ショコラ」子育て支援センターほっぺ南部分室

「子育て支援センター ほっぺ南部分室」にある子ども用トイレには、幼児用大便器や幼児用小便器を用意。大便器ブースは、保護者が外から見守れるように壁を低めに設定している。



豊中市立庄内さくら学園北校舎1Fトイレ図面

災害発生時などに避難所としての使用も想定される北校舎には、さまざまな利用者に配慮してバリアフリートイレを設置。さらに、通級指導教室の近くには、性別に関わらず使用できる個室の男女共用トイレを設けている。



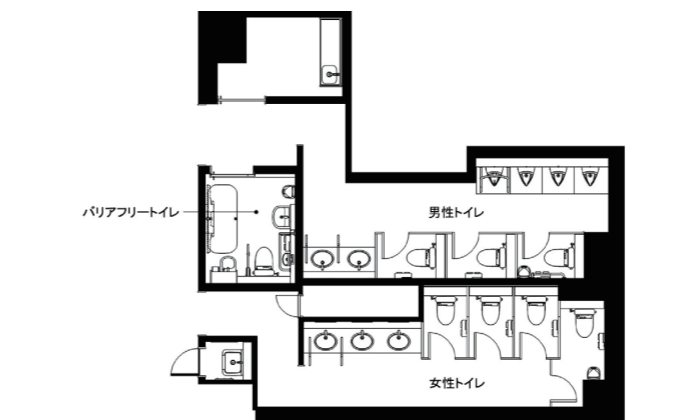
庄内コラボセンター「ショコラ」庄内図書館 授乳室

図書館に隣接して、授乳室を設置。授乳の際に利用できるよう、手洗器と自動水栓、ソファなどを備えている。



庄内コラボセンター「ショコラ」3Fバリアフリートイレ

機能分散し、混雑を緩和させるため、大型ベッドや乳幼児連れに配慮した器具など、フロアごとに機能の異なるバリアフリートイレを設置している。



庄内コラボセンター「ショコラ」トイレ図面

「庄内コラボセンター」のバリアフリートイレは、機能分散を図るため、フロアによって設備・仕様を変えている。

水まわりの特長

建物の特徴

大阪府豊中市の南部に位置する庄内地域では、児童数・生徒数が減少。小学校から中学校へ進級する段階で、学区が複数に分かれ、さらに小規模化する課題もあり、学校同士を統合することで適正な規模を確立するため、2023（令和5）年4月、豊中市初の施設一体型小中一貫の義務教育学校「庄内さくら学園」を開校。児童生徒が多様な人々とのコミュニケーションの中で関係性を育んでいける教育環境が整備された。また、公共施設も各所に点在し老朽化が課題となっていたことから、ひとつの場所に再編。南部地域の核となるだれもが気軽に立ち寄れる施設として「庄内コラボセンター（愛称:ショコラ）」が併設された。子どもたちが下校後にそのまま施設に立ち寄るなど地域の人との交流も生まれている。

トイレの特長

各年次の成長段階に応じて設計内容が工夫された、学校のトイレ。1～4年生が利用するトイレは、楽しく、行きたくないように曲線形状を用いて柔らかな空間とし、洗面コーナーは、一緒に手洗いで、安心して利用できるアイランド型となっている。自主性が高まり個性を意識し始める5年生以降の高学年では、トイレの洗面を個別にしたり、大きな鏡を設置するなど身軽いにも配慮。また北校舎には、さまざまな身体状況に配慮したバリアフリートイレや、発達に課題を持つ児童が使用する教室の近くに、性別に関わらず使用できる個室の男女共用トイレを設置している。庄内コラボセンターでは、機能分散されたバリアフリートイレ、子ども用トイレ、授乳室など、施設の機能にふさわしいトイレが整備されている。

建築概要

名称	豊中市立庄内さくら学園・豊中市庄内コラボセンター「ショコラ」
所在地	大阪府豊中市庄内幸町4-29-2、4-29-1
施主	豊中市
設計	株式会社 類設計室
施工	建築 大林組・河崎組特定建設工事共同企業体 設備 柳生・山田特定建設工事共同企業体
竣工年月	2022年11月
敷地面積	26,406.35㎡
建築面積	11,584.21㎡
延床面積	30,094.72㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、プレストレストコンクリート造・地上4階、塔屋1階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
- パブリックコンパクト便器・タンク式:CS597系+SH596系
- 低リップ大便器:C426R
- ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF583\*系
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5524A
- 普通便座:TC291
- 棚付二連紙巻器:YH701
- 自動洗浄小便器:UFS900系
- 洗面器:L531
- 壁掛洗面器:L210C、L270C
- スタッフ用手洗器:LS850系
- 自動水栓一体形電気温水水器:REAK03B11
- 台付自動水栓:TENA41系
- コンパクトオストメイトバック:UAS81LDB2N、UAS81RDB2N
- 幼児用大便器:CS300B
- 幼児用小便器:U310GY